

「medicina」 第 27 卷 総目次

1990 年 第 1 号～第 13 号

数字は通巻頁数, () は号数, 10 号は増刊号です。

〔今月の主題〕

再灌流療法時代の急性心筋梗塞診療 (1)

再灌流療法時代の心筋梗塞診療の問題点

今月の glossary

〈発生の機序と病態〉

心筋梗塞と血栓

心筋梗塞と冠スパスム

フリーラジカル

血栓溶解剤と出血性梗塞

stunned myocardium

extension と expansion

〈診断と評価〉

超急性期の梗塞診断

再灌流の非観血的診断

超音波検査法の役割

血液検査による診断と評価

血行動態のモニタリング

緊急冠動脈造影

RI 法の役割

PET で何が分かったか

〈再灌流療法〉

再灌流療法の有効性

血栓溶解薬 (ウロキナーゼと t-PA)

ブライマリケアでの静注法

PTCR

PTCA

内科サイドからみた緊急冠動脈

バイパス術

〈合併症に対する治療〉

心原性ショック

心不全

不整脈

梗塞後狭心症

心破裂の予防と治療

心室中隔穿孔

左室内血栓

高齢者に対する対策

〈予後と予防〉

死亡率は減少したか

リハビリテーションはどう変わったか

心筋梗塞症例の予後—内科的治療の効果

心筋梗塞症例の予後—intervention の効果

心筋梗塞と高脂血症

アスピリンと心筋梗塞

β 遮断薬と心筋梗塞

〈トピックス〉

silent myocardial ischemia

冠動脈内視鏡

補助人工心臓 (VAD)

心筋コントラストエコー法

non-Q 心筋梗塞

〈座談会〉

急性心筋梗塞治療の最前線

相澤 忠範・野坂 秀行

高野 照夫・山口 徹

消化器診療の controversy (2)

Editorial: 消化器診療の controversy

〈食道疾患〉

出血のない食道静脈瘤に硬化療法

は必要か?

逆流性食道炎の治療—消化管運動

亢進剤は有用か?

食道癌の治療法はどのように選択

すれば良いのか?

〈胃・十二指腸疾患〉

日常診療では上部消化管内視鏡検査

はいつ行うべきか?

長期維持療法で胃・十二指腸潰瘍の再発

予防は可能か?

胃・十二指腸潰瘍の多剤併用療法は

単独療法に優るか?

胃・十二指腸潰瘍治療における外科

の役割は減っているのか?

出血性胃・十二指腸潰瘍治療に対する

内視鏡的止血療法は有用か?

Non-ulcer dyspepsia に対して消化管

運動改善薬は有用か?

早期胃癌は非手術的に治療可能か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

胃がんの免疫・化学療法は有用か?

〈腸疾患〉

過敏性腸症候群の薬剤治療は

どうするか?

炎症性腸疾患の新しい治療薬は

有用か?

炎症性腸疾患における surveillance

colonoscopy はどのように行うか?

悪性ポリープをどのように取り扱うか?

便潜血検査で大腸癌のスクリーニング

が可能か?

〈胆道系疾患〉

Silent stone の治療は必要か?

体外衝撃波胆石破砕療法は手術療法に

とってかわれるか?

内視鏡的乳頭括約筋切開術は胆嚢非

摘出例でも適応となるか?

エコーでたまたま見つかった胆嚢ポリ

ープをどうするか?

閉塞性黄疸の手術に際し、術前減黄ドレ

ナージは必要か?

〈脾疾患〉

急性脾炎の薬物療法は予後を改善

できるか?

急性脾炎の外科的治療のタイミングは?

脾疾患の内視鏡的治療は可能か?

〈肝疾患〉

肝炎に薬物療法は必要か?

B 型肝炎のステロイド離脱療法・抗ウ

イルス療法は確立しているか?

非 A 非 B 型肝炎の抗ウイルス療法

は可能か?

ステロイド療法は重症アルコール性

肝障害の予後を改善させるか?

劇症肝炎の各種治療法は有用か?

無症候性 PBC の治療は予後を改善

させるか?

肝細胞癌に対する TAE 療法は本当

に有用か?

〈その他〉

各種腫瘍マーカーによる消化器癌の早期

診断は可能か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

胃癌の免疫・化学療法は有用か?

臨床医のための免疫学(3)

今月の glossary	360
〈Editorial〉免疫学の発展	
石 和久・他	364
〈免疫機構の生物学〉	
免疫反応の細胞と分子生物学	
中野 昌康	368
T-リンパ球	372
関 秀俊	372
B リンパ球	376
早川 浩	376
ナチュラルキラー細胞	380
山本 三郎	380
マクロファージとリンパ球	
星岡 明・他	384
マスト細胞と好塩基球	
山口 正雄・他	388
補 体	390
稲井 真弥	390
〈免疫反応により分泌される物質〉	
サイトカインの種類と機能	
浅野 喜博	396
抗体産生のメカニズム	402
石川 博道	402
免疫抗体の働き	408
大西 三朗・他	408
マスト細胞からの物質	
津田 富康・他	412
〈組織適合性抗原と免疫反応〉	
Major Histocompatibility Complex (MHC)の構造と抗原	
小林 賢・他	418
主要組織適合性複合体(MHC)の産物と細胞表面	422
中辻 孝子・他	422
主要組織適合抗原(MHC)と疾患の関連	426
安倍 達	426
〈移植免疫〉	
MHC と移植	430
雨宮 洋一	430
移植における免疫抑制剤	
笠井 正晴	434
移植後の合併症	438
中尾 真二・他	438
〈癌と免疫〉	
腫瘍細胞と免疫	440
新津洋司郎・他	440
生物学的活性物質と癌治療	
佐々木康綱	444
癌関連抗原と利用法	448
大倉 久直	448
〈免疫と臨床〉	
自己免疫疾患発症のメカニズム	
赤間 高雄・他	452
免疫学的検査法と読み方	
岡田 純・他	456
気管支喘息	460
根本 俊和	460
蕁麻疹	462
大塚 智博・他	462
自己免疫性溶血性貧血	468
溝口 秀昭	468
特発性血小板減少性紫斑病	
小林 勲	472
甲状腺疾患と免疫	476
網野 信行	476
免疫複合体によって起こる疾患	
高橋 浩文・他	480
HIV ウイルスと AIDS の発症	
森 茂久	484
免疫不全症と感染	488
大野 竜三	488
〈免疫疾患の治療〉	
免疫抑制剤と賦活剤の現状	
東條 毅	490

γ-グロブリンの使用法

柳 忠道	494
減感作療法	498
高橋 清	498
付) 白血病の表面マーカーの一覧表	
鶴岡 延熹・他	502
今月の主題・理解のための 10 題	
北原 光夫	504

白血病—最新の知見と治療(4)

〈editorial〉白血病—最新の知見と治療	
大野 竜三	556
今月の abbreviation	557
大野 竜三	557
白血細胞の起原と分化	
高久 史麿	558
〈疫学と病態〉	
日本人白血病の発生頻度と病型分布	
鈴木 久三	562
染色体異常	564
鎌田 七男・他	564
白血病と癌遺伝子	566
池田 健・他	566
Ph ¹ 染色体と BCR 遺伝子	
大屋敷純子・他	568
残存白血球の診断	571
清井 仁・他	571
〈治療〉	
成人急性骨髄性白血病の治療	
大野 竜三	576
成人急性リンパ性白血病の治療	
竹内 仁・他	581
小児急性骨髄性白血病の治療	
藤本 孟男	585
小児急性リンパ性白血病の治療	
細谷 亮太	592
慢性骨髄性白血病の治療	
吉田 稔	600
新しい抗白血病剤	602
上田 孝典・他	602
〈特殊な白血病〉	
Myelodysplastic syndrome(MDS)と周辺疾患	604
吉田弥太郎	604
Myelodysplastic syndrome(MDS)の治療	606
高橋 功・他	606
成人 T 細胞白血病の診断と疫学	
麻生 範雄	611
成人 T 細胞白血病の治療と予防対策	
田口 博國・他	614
慢性リンパ性白血病とリンパ腫の関係	
土岐 博信	616
Hairy cell leukemia とその治療	
木谷 照夫・他	618
慢性好中球性白血病と骨髄増殖性疾患群	620
柴田 昭	620
二次性白血病	622
竹中 武昭	622
巨核芽球白血病	624
椿 和央	624
高齢者白血病の治療	626
小峰 光博	626
〈新しい治療法〉	
CSF と白血球細胞増殖作用	
別所 正美・他	631
CSF の白血病治療における役割	
平岡 諒・他	634
骨髄移植療法	638
南 三郎・他	638
白血病の biotherapy	642
江崎 幸治	642
〈補助療法〉	

血小板輸血と抗 HLA 抗体

森島 泰雄	646
DIC の治療(各種新抗線溶剤の使い方を含む)	650
垣下 榮三・他	650
感染症対策	652
今井 邦之	652
白血病患者の一般的管理・栄養療法	
許 泰一	654

〈鼎 談〉

成人白血病治療の現状と将来	
朝長万佐男・柴田 弘俊	
大野 竜三	658

呼吸不全の臨床(5)

Editorial: 呼吸不全—その現実と対応	
谷本 普一	728
〈呼吸不全の概念と病態生理〉	
急性呼吸不全	729
大谷 信夫	729
慢性呼吸不全	734
吉良 枝郎・他	734
慢性呼吸不全の急性増悪	
中田紘一郎	736
睡眠時呼吸障害	740
金澤 修・他	740
呼吸筋障害	742
金野 公郎・他	742
〈急性呼吸不全・慢性呼吸不全急性増悪の臨床〉	
症状, 所見からの重症度判断	
松村 理司	746
X 線学的鑑別診断のポイント	
有泉 光子・他	748
血液ガスの読み方	752
太田 保世	752
酵素吸入のすすめ方	
池田 賢次・他	754
緊急時薬物治療の選択	
石井 彰・他	758
〈慢性呼吸不全の臨床〉	
診断の手順	760
岡村 樹・他	760
血液ガスの特徴	764
岸 不盡彌・他	764
呼吸機能検査の解釈	
川城 丈夫・他	766
気管支肺洗浄(BAL)検査の適応と限界	770
長井 苑子・他	770
経気管支肺生検の意義	
斎木 茂樹・他	772
キサンチン系薬剤, β 刺激剤の使い方	
工藤安一郎	775
ステロイド剤の適応と使い方	
谷本 普一	778
抗菌剤の選択	782
中森 祥隆	782
吸入療法の実際	786
藤川 晃成	786
肺性心の治療	788
栗山 喬之・他	788
合併症対策と全身管理	790
岡野 弘	790
〈呼吸不全治療の新しいアプローチ〉	
難治性気管支喘息の携帯用インフュージョンポンプ療法	792
野口 昌幸	792
びまん性汎細気管支炎の抗菌剤	
長期療法	795
小田切繁樹	795
高齢者肺炎の特徴とその対応	
鈴木 幹三・他	800
睡眠時呼吸障害の nasal CPAP 療法	
成井 浩司	802
間質性肺炎のステロイドパルス療法	

猪熊 茂子 806	
肺蛋白症の肺洗浄療法	
青島 正大 808	
急種劇症肺炎への対応 中谷 龍王 812	
Bronchiolitis obliterans organizing pneumonia (BOOP) のステロイド治療	
加治木 章・他 814	
過誤腫性肺脈管筋腫症のホルモン療法	
山口 昭彦 817	
〈人工呼吸管理〉	
人工呼吸の適応基準と対象疾患	
宮城征二郎 821	
人工呼吸管理のすすめ方とウィーニング	
諏訪 邦夫 824	
呼吸管理中の全身・栄養管理	
根津 武彦・他 826	
ECLA, ECMO の現況	
津野 恭司・他 828	
High frequency ventilation (HFV) の適応と限界 長尾 光修・他 830	
〈呼吸不全のリハビリテーション〉	
リハビリテーションプログラムの設定	
佐々木孝夫 832	
理学療法のすすめ方	
須藤 守夫・他 836	
呼吸筋トレーニング	
栗原 直嗣・他 838	
運動療法の実践 蝶名林直彦 840	
在宅酸素療法のすすめ方	
饗庭三代治・他 844	
日常生活の管理と急性増悪対策	
石原 照夫 846	
〈鼎 談〉	
呼吸不全のとりえ方と治療のすすめ方	
田村 昌士・宮城征二郎 848	
谷本 普一 848	
今月の主題・理解のための 10 題	
谷本 普一 858	
わかりやすい 心電図の臨床 (6)	
〈心電図の読み方〉	
心電図の読み方の基本 小沢友紀雄 900	
心電図の読み方の pitfall	
大林 完二 906	
P 波 小林 明 908	
QRS 波 高垣 健二・他 912	
ST 偏位 中島 克彦 914	
T 波と U 波 沢登 徹 918	
危険な不整脈 杉 薫 922	
頻拍性不整脈 小川 聡・他 926	
徐脈性不整脈 飯沼 宏之 930	
〈負荷心電図, 特殊心電図の適応と読み方〉	
運動負荷心電図—Master's two step test	
斉藤 俊弘 936	
運動負荷心電図—Treadmill, Ergometer	
川久保 清 942	
Holter 心電図 田辺 晃久 944	
臨床電気生理学的検査 笠貫 宏 952	
ペースメーカー心電図 谷川 直 960	
心電図自動診断の効用と限界	

広木 忠行 964	
〈心電図異常と他の検査法〉	
心エコー図の必要な心電図異常	
大木 崇・他 968	
心血管造影を必要とする心電図異常	
横井 尚・他 974	
RI 検査の必要な心電図異常	
山科 章 978	
〈疾患と心電図異常〉	
Stokes-Adams 症候群と心電図異常	
東 祐圭・他 982	
心筋梗塞と心電図異常 鷹津 文麿 986	
狭心症と心電図異常 鈴木 紳 994	
心肥大と心電図異常 夏目 隆史 998	
心筋炎, 心膜炎と心電図異常	
古野陽一郎・他 1002	
電解質異常と心電図異常	
山崎 純一・他 1006	
薬物と心電図異常 杉村 洋一・他 1010	
非物理的 ST-T 変化	
林 博史・他 1014	
〈不整脈の治療〉	
除細動と緊急ペーシング	
竹永 誠・他 1018	
上室性期外収縮, 上室性頻拍	
磯本正二郎・他 1021	
心房細動, 心房粗動 林 潤一 1024	
心室性期外収縮, 心室頻拍	
加藤 貴雄 1027	
ブロック 早野 元信 1030	
洞不全症候群 山口 巖・他 1034	
WPW 症候群 伊東 祐信・他 1038	
心筋梗塞の不整脈 桑子 賢司 1042	
ペースメーカー不全 横山 正義 1045	
手術で治る不整脈 三崎 拓郎・他 1048	
抗生物質の使い方 (7)	
抗生物質投与の問題点 北原 光夫 1092	
〈抗生物質選択の手順〉	
発熱をどうみるか 根岸 昌功 1096	
培養結果判明前の empirical therapy	
高橋 幸則 1100	
培養検体の採取方法と限界	
熊坂 一成 1104	
感受性検査と臨床応用 増田 剛太 1108	
外来治療入院治療かの決定	
相澤 信行 1110	
不明熱への取り組み方 北原 光夫 1112	
〈抗生物質投与の基本〉	
ナロースペクトラム抗生物質投与の重要性 比嘉 太・他 1116	
モノセラピー 那須 勝 1120	
併用療法の理論と実際	
森 真由美 1122	
抗生物質の投与方法 廣田 正毅 1126	
外来での抗生物質静注療法	
森 茂久 1128	
抗生物質の中止時期 黒田 芳信 1132	
内科的予防的抗生物質の投与	
渡辺 彰 1134	

〈抗生物質の特徴と使い方〉	
ペニシリン系の使い方 大貫 寿衛 1140	
第 1 世代セフェム剤の使い方	
斎藤 篤 1144	
第 2 世代セフェム剤の使い方	
泉川 欣一 1146	
第 3 世代セフェム剤の使い方	
相澤 好治 1150	
イミペネム の正しい使い方	
深谷 一太 1154	
モノバクタムの使い方 澤江 義郎 1156	
アミノ配糖体抗生物質の使い方	
和田 光一・他 1158	
キノロン剤の使い方 河合 健 1160	
抗真菌剤の使い方 渡辺 一功 1164	
抗ウイルス剤の使い方	
西條 政幸・他 1166	
〈内科的感染症と抗生物質投与法〉	
細菌性髄膜炎 長澤 浩平 1170	
市中感染肺炎 倉澤 卓也・他 1175	
院内感染肺炎 林 泉 1180	
胆道感染症 牧野 勲 1184	
尿路感染症 名出 頼男 1186	
敗血症 小林 芳夫 1188	
好中球減少時の発熱	
大熨 泰亮・他 1190	
MRSA コロニゼーションの管理	
小田切繁樹 1194	
〈抗生物質投与の注意事項〉	
抗生物質と腎機能 小西孝之助 1199	
抗生物質と肝機能 溝口 靖紀・他 1206	
抗生物質と消化管障害 上野 文昭 1210	
抗生物質と血液・造血器障害	
鶴岡 延嘉・他 1212	
抗生物質と妊娠 松田 静治 1214	
抗生物質投与中の発熱 高野 慎 1216	
抗生物質の副作用と対策	
北見 啓之・他 1218	
抗生物質の minimum requirement	
北原 光夫 1223	
内科医のための 小児診療のコツ (8)	
Editorial: 小児診療の特徴	
早川 浩 1278	
〈小児診療のコツ〉	
病歴のとり方 加藤 裕久 1280	
子ども, そして親への近づき方のコツ	
近江 恵子 1284	
新生児診察法 星 順・他 1286	
乳幼児診察法 川戸 英彦 1290	
臨床検査の選択のコツ 月本 一郎 1294	
臨床検査値解釈のコツ—小児の正常値	
戸谷 誠之 1296	
採血・注射法のコツ 田村 正徳 1300	
処方と薬用量決定 藤田 昌宏 1302	
〈主な症状・疾患の診療の要点〉	
発熱 富樫 武弘 1304	
嘔吐 前田 正人・他 1308	
下痢・便秘 小林 昭夫 1310	
腹痛 今野 多助 1314	

食欲不振・過食	熊田 聡子・他 1318
黄疸	住山景一郎・他 1321
発育不良・やせ	新美 仁男 1324
肥満	山崎 公恵・他 1326
低身長・高身長	大関 武彦 1328
学校不適応・登校拒否	近江 一彦 1332
知能障害	大塚 親哉 1334
夜尿	三好 邦雄 1336
けいれん	飯沼 一字 1338
意識障害	二瓶 健次 1342
頭痛・めまい	関 亨 1346
チアノーゼ	保崎 純郎 1348
不整脈	柳川 幸重 1350
呼吸困難	岩田 力 1354
喘鳴・咳	海老澤元宏・他 1356
リンパ筋腫脹	別所 文雄 1358
腫瘍・腫痛	櫻井 實 1360
貧血	宮崎 澄雄 1362
出血傾向・紫斑	網巻 宏 1364
感染の反復	河野 三郎 1368
関節痛・筋肉痛	藤川 敏 1372
浮腫・乏尿	村上 睦美 1374
発疹・湿疹	向山 徳子 1376
チック・心因反応	赤坂 徹 1378
言語障害	加我 牧子 1382
外表奇形	木田盈四郎 1386
〈小児保健指導の要点〉	
病児の生活指導	山中 龍宏 1390
育児相談	加藤 忠明 1392
予防接種	井関 幹郎 1397
学校保健	衛藤 隆 1402
〈座談会〉	
内科医のための小児診療のコツ	
吉田 尚義・橋 賢二	
福岡 和子・早川 浩 1406	
今月の主題・理解のための10題	
早川 浩 1416	
ウイルス肝炎 1990(9)	
〈Editorial〉ウイルス肝炎研究の進歩	
と診療の変遷	上野 文昭 1452
〈日常診療での肝炎マネージメント〉	
急性肝炎の早期診断	
柴田 久雄・他 1454	
慢性肝炎の外来診療—検査と治療の	
具体的スケジュール	金山 正明 1458
慢性肝炎と鑑別が紛らわしい慢性肝	
疾患	山室 渡 1462
肝炎の検査: Minimum Requirement	
池上 文昭 1464	
肝炎患者の専門医紹介のタイミング	
鶴沼 直雄 1466	
肝生検と肝炎マネージメント	
賀古 真 1470	
検診で見つかった肝機能異常者への	
対応	加藤 誠一・他 1474
HBV キャリアとその周囲への対応	
飯野 四郎 1476	
肝炎患者に対する正しい生活指導・	
食事指導	渡辺 明治 1478

〈そこが知りたいウイルス肝炎最近の 知見〉	
ウイルス肝炎 A, B, C, D, E	矢野 右人 1482
B型肝炎関連検査とその臨床的意義	
赤羽 賢浩 1488	
C型肝炎の感染経路の診断	
三田村圭二 1492	
肝炎の新しい生化学的検査	
岡部 和彦・他 1495	
ウイルス肝炎と免疫学 森實 敏夫 1498	
ウイルス肝炎とアルコール	
戸塚 慎一・他 1504	
STDとしてのウイルス肝炎	
田中 慧 1506	
肝炎ウイルスと肝細胞癌	
金子 周一・他 1510	
〈臨床状況に応じたウイルス肝炎の予防〉	
海外渡航者に対するウイルス肝炎の	
予防	森次 保雄 1512
母子垂直感染の予防—HB ウイルス	
を中心として	白木 和夫 1514
家庭内・職場内でのウイルス肝炎	
予防対策	宮島 透・他 1518
ウイルス肝炎の院内感染予防対策	
小坂 義種・他 1522	
医療従事者の感染事故への対応	
小俣 政男 1526	
輸血後肝炎をどのように予防するか	
片山 透 1530	
〈ウイルス肝炎の特殊治療〉	
ウイルス肝炎に対する一般薬物療法	
の適応と限界	松嶋 喬 1534
B型肝炎に対する抗ウイルス療法	
岩田晃一郎・他 1538	
C型肝炎に対する抗ウイルス療法	
中野 善之・他 1542	
劇症肝炎の特殊療法	
杉原 潤一・他 1546	
劇症肝炎に対する肝移植の現状	
永末 直文 1550	
肝炎患者の早期社会復帰	
石田 暉 1552	
今月の主題・理解のための10題	
上野 文昭 1556	
〈ウイルス肝炎 Q & A〉	
慢性肝炎患者の入・退院のタイミングを	
教えて下さい。	金山 正明 1460
慢性ウイルス肝炎と脂肪肝は肝生検をし	
なくても鑑別できるか。	山室 渡 1460
急性・慢性肝炎の患者を診てゆくとき、	
どの検査をどれぐらいの間隔で行うの	池上 文昭 1468
が一般的ですか。	
慢性肝炎の患者は、食後 30 分～1 時間ぐ	
らい横になって安静をとるべきと言わ	れますが、現実には難しくありません
か。	渡辺 明治 1480
病院職員が HBV キャリアであったら	
業務内容に注意が必要です。	

飯野 四郎 1480	
F 型肝炎は存在するか。	
矢野 右人 1486	
HBe の抗原から HBe 抗体に sero-	
conversion した後も肝炎は進行	
しますか。	赤羽 賢浩 1490
散発性の C 型肝炎と E 型肝炎はどのよ	
うに鑑別しますか。	三田村圭二 1494
非 A 非 B 型肝炎の母親から生まれる子	
供にはどのような予防法が必要か。	白木 和夫 1516
A 型肝炎ワクチンは開発されています	
か。	森次 保雄 1516
配偶者が肝炎患者であったら、夫婦生活	
は制限を受けるか。	上村 朝輝 1520
輸血後肝炎の原因ウイルスは C 型だけ	
ですか。	片山 透 1532
海外では肝炎に対してあまり薬が使われ	
ていないそうですが本当ですか。	松嶋 喬 1537
肝炎の抗ウイルス療法は外来でも安全に	
行えるか。	清沢 研道 1544
劇症肝炎の予後はどのように判定するの	
か。	杉原 潤一 1549
なぜ日本では肝移植が立ち遅れているの	
ですか。	永末 直文 1554
ベッドサイドの痴呆学(10)	
〈editorial〉痴呆学—内科医にとって	
必修の分野	小川 紀雄 2028
〈痴呆へのアプローチ〉	
痴呆とは何か—overview	
萬年 徹 2030	
問診のコツ	
新井 平伊・他 2036	
痴呆と誤りやすいもの	
—とくに意識障害	山之内 博 2038
評価の尺度—痴呆の診断と	
重症度の判定	大塚 俊男 2042
器質性痴呆の種類と特色	
—脳血管性痴呆	廣瀬源二郎 2047
—アルツハイマー型老年痴呆	武田 雅俊・他 2051
—クロイツフェルト・ヤコブ病	立石 潤 2058
—皮質下性痴呆	金澤 一郎 2060
—器質性痴呆の鑑別診断	池田 久男 2062
痴呆の疫学	浦上 克哉・他 2066
痴呆の予後	浦上 克哉・他 2068
リスクファクターと予防	
新野 峰久・他 2070	
〈治せる痴呆を見逃さないために〉	
治せる痴呆と治せない痴呆の見分け方	
久野 貞子 2074	
薬物による痴呆	
西山 和利・他 2076	
脳外科的疾患による痴呆	
松本 皓 2080	
身体的疾患による痴呆	
—水・電解質異常	松永 宗雄 2084
—内分泌・代謝疾患	松永 宗雄 2086

一慢性腎不全、透析脳症	武田 雅俊 2088
一肝不全	武田 雅俊 2090
一無酸素脳症	野元 正弘 2091
一感染症	黒田 康夫 2092
一栄養障害、ビタミン欠乏	野元 正弘 2094
精神科的疾患による痴呆	黒田 重利 2096
〈検査でどこまでわかるか〉	
治せる痴呆をみつけるための検査指針	山本 光利 2100
CT, MRI	千葉 一夫・他 2106
SPECT	小松本 悟・他 2115
PET	福山 秀直 2119
電気生理学的検査	柿木 隆介 2125
血液・脳脊髄液の生化学的検査	飯島 節 2128
〈薬物療法のポイントその効果と限界〉	
痴呆に対する薬物療法の注意事項	葛原 茂樹 2131
脳循環代謝改善薬の使い方	葛原 茂樹 2138
痴呆に伴う精神症状の向精神薬療法	江原 嵩 2140
睡眠障害への対処	上島 国利 2142
問題行動への対処	早原 敏之 2145
開発中の抗痴呆薬の最近の話題	吉田 充男 2148
〈痴呆患者のケアと社会的対策〉	
痴呆老人への接し方	森松 光紀 2152
地域サービス	伊藤 淑子 2154
21世紀に向けての社会的対策	一行政の立場から 伊藤 雅治 2156
〈鼎談〉	
痴呆をめぐる	池田 久男・山本 績子 小川 紀雄 2158
膠原病一活動性の評価と治療の選択 (12)	
editorial: 膠原病の治療と予後	柏木平八郎 2210
膠原病を見落とさないための問診上の注意点	柏木平八郎 2212
膠原病の診断一診断基準の適用と問題点	柏川 禮司 2215
膠原病検査所見のアセスメント	谷本 潔昭 2219
〈臨床的活動性の評価と予後に影響する因子〉	
全身性エリテマトーデス	坂根 剛・他 2222
慢性関節リウマチ	鎌谷 直之・他 2228
強皮症	熊谷 安夫・他 2232
多発性筋炎／皮膚筋炎	山根 一秀 2236
高安動脈炎	森脇龍太郎・他 2238
Sjögren 症候群	片山 雅夫・他 2242
Behçet 病	竹内 明輝 2244
〈治療方針の決定とフォローアップ〉	
全身性エリテマトーデス	

隅谷 護人 2246	
慢性関節リウマチ	宮城 憲一・他 2250
強皮症	近藤 啓文 2252
多発性筋炎／皮膚筋炎	斉藤 栄造・他 2254
結節性多発動脈炎	長沢 俊彦 2256
高安動脈炎	安倍 達 2258
Sjögren 症候群	宮坂 信之・他 2260
Behçet 病	高野 恵雄・他 2262
〈診療上の特別な問題〉	
全身性エリテマトーデス患者の妊娠の管理	長沢 浩平 2264
CNS ループスの診断における髄液検査の有用性	広畑 俊成 2266
抗リウマチ薬による腎障害	中野 正明・他 2269
慢性関節リウマチの物理療法の適応と禁忌	荻田 忠厚・他 2272
慢性関節リウマチの関節障害のリハビリテーション	木村 彰男・他 2274
慢性関節リウマチにおける関節置換術	腰野 富久・他 2276
〈膠原病関連のトピックス〉	
Undifferentiated connective tissue syndrome (UCTS)	東條 毅・他 2280
抗リン脂質抗体症候群	小池 隆夫 2282
Subacute cutaneous lupus erythematosus	衛藤 光 2284
リウマチ性多発筋痛症	原 まさ子 2286
成人 Still 病	大田 明英 2288
無菌性骨壊死と副腎ステロイド療法	有富 寛・他 2291
スポーツと関節障害	河野 一郎 2294
〈鼎談〉	
膠原病の免疫抑制剤治療	一いつ投与にふみきるか 廣瀬 俊一・市川 陽一 柏木平八郎 2296
今月の主題・理解のための 10 題	柏木平八郎 2308
STROKE一脳卒中診療のポイント (13)	
〈Editorial〉脳卒中診療のポイント	高木 誠 2384
〈脳卒中診療の基礎知識〉	
脳卒中の病型分類と成因	山口 武典 2886
脳血管の機能解剖と病理	星野 晴彦・他 2390
脳血管障害における脳循環代謝の基礎	福山 秀直 2394
〈脳卒中のリスクファクター〉	
高血圧と脳卒中	上田 一雄 2398
糖尿病と脳梗塞	井上 徹・他 2401
心疾患と脳梗塞一とくに心房細動との関係	山之内 博 2404
血小板、凝固・線溶系と脳卒中	丸山 征郎 2406
〈脳卒中の診断〉	

脳卒中の診断の進め方一Overview	高木 誠 2408
局在診断のための高次大脳機能の見方	森 悦朗・他 2414
局在診断のためのベッドサイドの神経眼科	畑 隆志 2416
脳卒中の画像診断	一MRI 所見を中心に 澤田 徹・他 2421
頸動脈病変の非侵襲的診断法	星野 晴彦 2428
脳 SPECT で何がわかるか	坂井 文彦・他 2431
〈脳卒中；病型別の臨床〉	
TIA の診断と治療	小林 祥泰 2434
Lacunar stroke の診断と治療	早川 功 2436
主幹動脈病変による脳梗塞の診断と治療	田川 皓一 2440
心原性脳塞栓症の診断と治療	峰松 一夫 2444
高血圧性脳出血の診断と治療	棚橋 紀夫 2448
脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血	一手術までの管理と手術のタイミング 樺 篤・他 2452
〈脳卒中の治療〉	
脳卒中急性期患者の管理	一Overview 岡安 裕之 2454
脳卒中急性期の合併症とその対策	石川 良樹 2458
脳卒中急性期のリハビリテーションの進め方	里宇 明元 2462
抗脳浮腫療法の適応と実際一脳浮腫の病態と脳卒中急性期における抗脳浮腫療法	赫 彰郎・他 2466
抗血栓療法の適応と実際	一抗血小板剤、抗凝固剤、線溶剤 内山真一郎 2468
頸動脈内膜摘除術とその適応	高木 康行・他 2476
〈特殊な脳卒中〉	
若年者の脳卒中	渡邊禮次郎 2480
ウィリス動脈輪閉塞症	高嶋修太郎 2484
Binswanger 病	岩本 俊彦 2488
抗リン脂質抗体と脳梗塞	北川 泰久 2492
〈慢性期患者の管理〉	
脳卒中の再発防止への対策	石原 直毅・他 2496
脳循環改善薬と脳代謝改善薬の使い方	長田 乾 2500
脳血管性痴呆の診断と対策	高木 繁治 2504
〈座談会〉	
脳虚血の成因と治療をめぐる	峰松 一夫・早川 功 内山真一郎・高木 誠 2506
今月の主題・理解のための 10 題	高木 誠 2524

[Current Topics]

- 最近の寄生虫疾患 高田 季久 518(3)
BOOP(Bronchiolitis obliterans
organizing pneumonia)
郡 義明・他 872(5)
横紋筋融解症の臨床
相澤 信行 1588(9)
超高速 CT 診断—心臓疾患への応用
相澤 信行 2350(12)

[カラグラフィ]

冠動脈造影所見と組織像の対比／

- 堀江 俊伸
11. 急性心筋梗塞—不完全閉塞 154(1)
12. 冠動脈内血栓溶解療法(PTCR)
292(2)
13. PTCR 後の PTCA(1) 508(3)
14. PTCR 後の PTCA(2) 672(4)
15. 心筋梗塞後の冠動脈血栓の変化
864(5)
16. 冠動脈に有意の狭窄を認めない
心筋梗塞 1052(6)
17. 冠動脈バイパス術(CABG)
—大伏在静脈使用例 1228(7)
18. CABG 後、早期にみられる
形態学的変化 1422(8)
19. 大伏在静脈使用バイパスグラフト
にみられる内膜肥厚 1560(9)
20. CABG 施行後、5 年以上経過した
グラフトの形態学的変化 2172(11)
21. 冠動脈バイパスグラフト閉塞
による急性心筋梗塞 2314(12)
22. CABG 後のグラフト狭窄
に対する PTCA 2528(13)

非観血的検査法による循環器疾患の 総合診断

- 僧帽弁の変形と穿孔により 2 種類の拡張
期雑音を認めた僧帽弁狭窄症の 1 例
福田 信夫・他 302(2)
僧帽弁輪および大動脈弁輪石灰化を
合併した肥大型心筋症の 1 例
大木 崇・他 1062(6)
交互脈と左室機能不全を示した
高血圧性心疾患の 1 例
福田 信夫・他 1426(8)
偽腔内に流動エコーと血栓を認めた
解離性大動脈瘤の 1 例
大木 崇・他 1570(9)
広汎な左室心筋の石灰化を示した
心筋梗塞後心室瘤の 1 例
福田 信夫・他 2324(12)

Oncology Round

5. 悪性腫瘍を疑わせた梅毒疹
新井 栄一・他 165(1)
6. リンパ芽球型リンパ腫
片山 勲・他 311(2)
7. 打撲後の腹痛で発症した神経芽腫
渋谷 温・他 513(3)
8. 不顕性癌(occult carcinoma)
の 1 例 片山 勲・他 683(4)
9. 癌性リンパ管症、DIC を呈した
胃癌の症例
高橋 幸則・他 867(5)
10. 腎結石でマスクされた早期尿管癌
新井 栄一・他 1057(6)
11. 皮膚筋炎に併発した早期卵巣癌
菅 三知雄・他 1239(7)
12. 病期の進行した低分化肺癌
新井 栄一・他 1583(9)
13. 胸腔内出血と肺動脈血栓症を
併発した肝細胞癌の 1 例
高橋 幸則・他 2335(12)
14. 腹膜偽粘液腫
森永正二郎・他 2539(13)

[演習]

目でみるトレーニング

- 来生 哲・他 158(1)
赤尾 信明・他 296(2)
来生 哲・他 676(4)
木野 智重・他 1232(7)
吉沢 信行・他 1564(9)
木野 智重・他 2176(11)
吉沢 信行・他 2318(12)
脇口 宏・他 2532(13)

心電図演習

- 船内 武司・他 175(1)
矢田 隆志・他 323(2)
上原 哲史・他 689(4)
石綿 清雄・他 1259(7)

実践診療 EXERCISE

- 池田 健治・他 331(2)
吉岡 成人・他 529(3)
泉 司郎・他 695(4)
吉岡 成人・他 1591(9)
植竹 健司・他 2183(11)
板東 浩・他 2367(12)

[講座]

図解病態のしくみ 循環器疾患

20. 心筋炎 杉下 靖郎 316(2)

21. 心膜炎 桑子 賢司 708(4)
22. 循環器疾患と妊娠, 他臓器手術
杉下 靖郎 882(5)
23. 精神的ストレスと心・血管系疾患
小川 剛・他 1072(6)

図解病態のしくみ 膠原病

1. 膠原病の概念(総論)
橋本 博史 1244(7)
2. 膠原病理解のために(免疫学概論)
平野 隆雄 1600(9)
3. 膠原病理解のために(抗核抗体)
高崎 芳成 2192(11)
4. 全身性エリテマトーデス(SLE)
橋本 博史 2340(12)
5. 強皮症 熊谷 安夫 2544(13)

検査データをどう読むか

- 菅野 剛史 170(1)
菅野 剛史 328(2)
松野 一彦・他 534(3)
伊藤 喜久 704(4)
松野 一彦 888(5)
伊藤 喜久 1254(7)
北村 耐・他 1436(8)
太田 正康・他 1612(9)
佐藤 寿 2372(12)

循環器疾患診療メモ

- 陣内 陽介・他 180(1)
山科 章・他 346(2)
高尾 信廣・他 544(3)
山科 章・他 1080(6)
高尾 信廣・他 1266(7)
山科 章・他 1617(9)
高尾 信廣・他 2188(11)

呼吸器疾患診療メモ

- 宮城征四郎 348(2)
宮城征四郎 540(3)
宮城征四郎 1263(7)
宮城征四郎・他 1440(8)

CPC／茅ヶ崎徳州会総合病院

- 消化器症状で発症し、心タンポナーデを
合併して死亡した急性心筋梗塞の症例
338(2)
間質性肺炎、肺出血および消化管出血、
汎血球減少、ショックと短期間に多彩
な臨床経過をたどって死亡した 35 歳
の透析患者 2358(12)